

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472603099	事業の開始年月日	平成18年12月1日
		指定年月日	平成17年11月1日
法人名	医療法人社団 仁和会		
事業所名	グループホーム ひばり		
所在地	(〒252-0255) 神奈川県相模原市中央区田名2750-14		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成24年1月23日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月6日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個人の意志を尊重しながら、残存機能を活かし、維持できるよう支援している。毎月手創りの飾りつけを室内の壁や玄関に行い季節感を感じ、楽しんでいただけるように、工夫を凝らしている。食べることの楽しみが持てるように「お楽しみメニュー」や「手創りおやつ」の提供に力を入れている。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成24年2月6日	評価機関 評価決定日	平成24年4月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の立地・環境】 この事業所はJR橋本駅からバスで20分、葛輪バス停より徒歩5分のバス通りから少し入った静かな住宅地の中にある。2階建ての建物の内部はエレベーターが設置され、バリアフリー構造で1、2階共に同じ造りになっている。
【理念に添った支援】 理念である「触れ合い、支え合い、認め合い、安らげる生活の場」に基づきグループホームが家であると考え、利用者は掃除、洗濯、食事作りを一緒に行き、助け合い、支えあって生活をしている。職員は、意見や提案をいつでも書き込めるボードや連絡ノートで情報交換して日常のケアに役立てている。玄関やリビングに飾られた手作りの貼り絵が季節を感じさせてくれる。
【地域との交流】 自治会に賛助会員として加入している。自治会主催の夏祭り、どんど焼きに参加している。近隣の方と散歩時に挨拶を交わしたり、話をしている。ゆずを届けてもらったこともある。また近隣の方のお茶入れ、洗濯物たたみなどのボランティアがあり、地域の協力を得られていて、利用者も交流を楽しみにしている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ひばり
ユニット名	ひばり 1F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「触れ合い、支えあい、認め合い安らげる生活の場」を理念に掲げ目につく玄関に掲示し、職員が常に意識出来る様にしている	開所時からの理念を玄関に掲示している。理念について会議や日常の会話の中で話している。理念を基にグループホームは家であると考えて、掃除、洗濯、食事作りを一緒にやり、散歩など日常生活のなかで助けあい、支えあっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会行事(夏祭りやどんど焼き等)に積極的に参加し、日々の散歩等でも地域住民とのかかわりや、触れ合いができるようにしている	自治会の賛助会員である。夏祭り、どんど焼きなど地域の行事に参加している。散歩の時に近所の方と挨拶を交わしている。近所の方がゆずを届けてくれるなど地域との交流がある。ボランティアの方が洗濯物たたみ等のため訪問している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地域ケア会議にて意見交換している		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は震災についての意見やアドバイスを受け話し合い、また地域で参加出来る集まり等を教えて頂き考慮した	運営推進会議は自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、介護支援課職員、利用者の参加で今年度は2回開催した。事業所の現状報告をしたり、防災や緊急対策について話し合っている。自治会長や民生委員から地域の情報を得ている。	地域密着型サービスは地域の方や関係機関との連携が不可欠ですので、運営推進会議の開催を増やし、家族の参加を呼びかけることを期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護受給者の入居者について、社会福祉事務所との連携を取っている。地域包括支援センターから紹介され入居された方の様子を伝えている	生活保護課の窓口年に3回くらい行っている。介護保険課との連絡は主に法人の事務職員がとっている。市職員も参加する地域ケア会議に出席しており、相談にのってもらえることができる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない事を基準に取り組んでおり、一人一人の行動を見守り、事故のないように対応している。また、会議で話し合う機会をもうけている	職員は法人主催の研修に参加して、会議などでその内容を伝達し実践につなげている。安全のためユニット入口にセンサーを設置し、中からは操作しないと開かないようになっている。開け方を知っている利用者もいるため操作ボタンが見えないように工夫している。散歩時など外に出た時は近所の方から見守りの協力を得ている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者同士、又利用者対職員の言動に日々十分に気を配り、更衣介助や入浴時等には身体観察に努めている		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域福祉権利委譲事業安心センターを利用、活用している方もいる。成年後見制度を受けている方もおり、関係者と話し合いを行った		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約については同法人、老人保健施設の相談員が窓口となり、状況交換をしながら行っている話し合いには利用者、管理者も参加している		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入口に意見箱を設置しており、年2回家族会を開き意見を伺い、スタッフ会議等で意見を反映させている。面会時にも家族は意見を職員に言ってくれる	意見箱がある。家族からの意見は面会時や電話で連絡をしたときに聞いている。家族会では運営推進会議の内容を報告し、外出時の協力（お祭りの際に車椅子を押してもらう）をお願いしたり緊急時の医療についての説明をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議を月に一回開催し、職員一人ひとりの意見や提案を交換し合い日々の介護に反映させている。申し送りノート、意見交換ボードを作り日々の介護に反映している</p>	<p>職員の意見は会議、日常業務、申し送りノートなどから把握している。ボードがあり、意見や提案を自由になげかけることができる。職員意見を取り入れ、衣類やパットの置き場所や調理器具などの収納の仕方を変えた例がある。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人事考課が行われている。夜勤時間が今年度変更になり、働きやすくなった</p>			
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>同法人内の老人保健施設にて開催される研修に参加している</p>			
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>田名地区地域ケア会議にて交流し、勉強をしている</p>			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>積極的な声掛けや傾聴の中から職員全員でカンファレンスを行い、ケアプランに反映させ安心感を築ける様努めている</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談や電話等で家族の不安や要望を伺い、会議や連絡ノートを活用し職員全体で把握し、共通の対応をしている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今年度入居された方が成年後見制度を必要としていたので関係者と話し合い利用した		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活を共有し合う者として必要とされている事を認識して頂くためにも、出来る事は積極的に手伝って頂き、炊事等教えて頂きながら敬意を払っている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関わりを密にし、家族として手助けして頂ける事、散歩、買い物、地域行事参加等お願いしている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の友達等の面会の折には、気兼ねなく談笑できる様配慮している。又、本人の大切にしている場所は、普段の会話の中に折り込み、共感している	友人やいところが訪ねてきた時はお茶で接待し、居室で話をする事を支援している。家族からの電話の取り次ぎをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士のコミュニケーションが図れる様、食席を配置したり職員が中に入り話題作りをしたりしている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用中に何でも話しのできる関係を築き、契約終了後もフォローアップ出来る事は行う		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の個性やこだわりを大切にしている。その人らしさを壊さない生活環境づくりを行っている(食事の時間を本人に合わせてずらして対応している)	職員は利用者の何気ないつぶやきや日常の会話中から思いや意向を聞き取り、申し送りノートに書いて共有している。意向の把握が困難な方からは問いかけに対しての表情をみて判断している。利用者の「洋服が買いたい」「お寿司が食べたい」などの思いを汲み取り、外食や買い物に出かけたことがある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や友人、本人の話から生活歴や生活環境を大切にしている暮らし方が出来るように努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の体調や生活リズムを大切に考え、その場に応じた対応を心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ会議においてカンファレンスを行い、現状に即したケアプランの見直しを行っている	介護計画は事前に職員を集めて会議を行い、作成時と作成後、家族に意見を聞いている。訪問医には利用者の様子を報告し、意見がFAXでよせられている。短期で3ヶ月、長期で6ヶ月に一度の見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ったサービス記録の他、日々の気づき等は申し送りノートを活用し情報の共有をしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ひまわり歯科の往診や病院への受診時の配車や、付添い等の既存のサービスの他、新たに訪問マッサージを開始。現在通所リハビリを支援した		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会主催のどんど焼きや夏祭りに参加したり、金毘羅神社へのお参り等地域との共存を図っている		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に一度の訪問診療を行っており、別途かかりつけの医の受診をされている方もいらっしゃる	協力医（内科医）の訪問診療が月1回ある。歯科医は必要に応じて訪問診療してくれる。協力医以外の受診は家族対応になっており、受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	月に一度の訪問診療の際に来設し、利用者の健康状態を把握、又急な体調変化時は本院師長に指示を仰いでいる		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時には介護サマリーを交換し、早期退院の為に話し合いや協力を行っている。日頃から細かな連絡をしている		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族の意向を伺い、病院医師の指示を仰ぎながら対応している	入所時に重度化や終末期についての方針を口頭で説明している。食事が取れなくなった時を目安として、ケアが難しくなったときは家族と話し合い、希望により法人の病院に入院してもらい、最期まで対応している。職員はターミナル研修を受けているが、看取りを行った事例は無い。	終末期に向けた指針があり、研修も実施していますが、今後、重度化した場合や終末期の指針をつくり、指針に基づいた対応を家族や関係者、職員に説明できるようになることを期待します。
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応についてのフローチャートが、確認しながら対応できる様事務所に掲示している。消防署員に指導訓練してらった		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防訓練は利用者を含め行っている。地域の消防組織も協力して下さるとは言っている	夜間想定避難訓練を利用者、職員が参加して年1回行った。災害時には消防団が来てくれるようになっている。ユニット倉庫に、飲料水、食料が3日分とオムツの備蓄がある。	災害対策には地域の協力も必要ですので、運営推進会議等を通して地域の方の参加、協力が得られるように働きかけることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重する言葉掛けや対応を心掛け、個人情報の扱いには十分に気を付けている	職員は年2回法人主催の接遇研修を受けて、会議や申し送りの時に他の職員に伝達している。居室やトイレに入る時はノックをして、トイレ誘導は小声でするようにしている。個人情報に関する書類は事務室のキャビネットの中に保管している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表せるよう働きかけたり、説明を行い自身が納得のいく暮らしができるよう支援している			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の体調や状況に応じた対応を心掛け、一人ひとりの生活リズムを大切にしている			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさや本人の意志を大切に整容介助を行っている。又、身のまわりの物品購入も一緒に行かれる人は買い物に行き対応している			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に一度、お楽しみメニューを企画し利用者からリクエストしていただいている。利用者に来る事は手伝って頂いている	献立、食材は宅配業者に委託している。ひな祭りや誕生会など行事の際は宅配を止めて、利用者の好みの物を提供しており、喜ばれている。職員も同じものを一緒に食べている。利用者は洗い物や配膳、下膳を手伝っていた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分チェック表に記録し、日々の摂取量を確認し確保している。夜間も希望者はペットボトルにて水分を摂取している</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアを促し介助している。義歯は毎晩消毒、預かりを行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンに応じた声かけ、介助を行い気持ちの良い排泄と自立に向けた支援を心掛けている</p>	<p>排泄チェック表でパターンを把握し時間を見てトイレに誘導している。昼間はリハビリパンツ、夜間はオムツを使用している方がいる。入居後に便意が戻り、トイレで排便されるようになった方もいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を記録し排尿、排便パターンを把握し排便時は氷水を飲用してもらい、薬のみに頼らないようにしている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>一週間に2回入浴を行っている。又、季節に応じ入浴剤やゆず湯等楽しんでもらっている</p>	<p>週2回、10時～11時30分頃に入浴している。1対1の対応で利用者の好みの湯温に合わせて、入浴剤を使って30～40分くらいかけてゆっくり入浴している。リフト浴を使用している方もいる。入浴を好まない人はいない。希望があれば同性介助にも対応できる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や体調に合わせて休息や安眠ができるよう、昼夜にとらわれず支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のない様複数人でセッティング確認を行い、薬袋の名前と本人が一致していることを確認し与薬している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事などをやって頂き感謝の言葉を伝えている。食後のコーヒーを楽しみにしている方が何人かおり、お出している。買い物にて好みの雑誌や服なども購入している		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はできるだけ毎日近所へ散歩に出てる。地域行事にも積極的に参加したり、お花見や紅葉狩り等努めて外出の機会をつくっている	車椅子の方も含め個別で週1~2回事業所の周りを散歩したり、買い物に行ったりしている。年2回、相模湖北公園や津久井湖方面に桜、コスモスの花を見に車で出かけたりにしている。家族の付き添いで墓参りに行った方がいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布を持っている方も何人かおり、散歩の折、缶ジュース等買われたりしている。又、欲しい物がある時は預かり金の中から職員が買ってくることもある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望のある時には対応している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節の花を飾ったり、季節に応じた絵や飾りものをして、皆が心地よく快適な生活が送れる様工夫している	玄関ポーチにイーゼルが設置され、2月を感じさせる手作りの貼り絵が置かれ、リビングには梅の花など季節感を感じられる手づくりの貼り絵がところどころに飾られている。車椅子の方が楽に行き来できるよう空間を広くしている。加湿器を使い気持ちよく過ごせるようにしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席の席替えや配置替えを、利用者の希望を入れながら行っている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の家具、テーブル等は使い慣れた物が置かれ、大切な写真を飾ったり花や絵を飾ったりされており安心して過ごせる空間になっている	各居室にはクローゼット、エアコンが設置されている。鏡台、椅子、テーブル、ぬいぐるみなど利用者の好みの物が持ち込まれている。壁には塗り絵や写真が飾れている。居室の入口には本人の顔写真が貼られていたり、必要な方には、大きな字で名前があるなど部屋間違いがないように配慮している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所で調理しながらリビングが見渡せるようになっている。バリアフリーで必要な場所には手摺が付いており、安全で見守りしやすいよう工夫されている		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472603099	事業の開始年月日	平成18年12月1日	
		指定年月日	平成17年11月1日	
法人名	医療法人社団 仁和会			
事業所名	グループホーム ひばり			
所在地	(〒252-0255) 神奈川県相模原市中央区田名2750-14			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成24年1月23日	評価結果 市町村受理日		

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症が軽度の方から重度の方まで、又、年齢的にも若年の方から高齢の方までいらっしゃるフロアーなので、個別の支援も重視しつつお互いに助けあえるよう支援し、季節感を感じる制作や行事を工夫し、楽しみの持てる生活を支援している。食べる楽しみが持てるように、お楽しみメニュー、手づくりおやつ等提供している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ひばり
ユニット名	ひばり 2F

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「触れ合い、支えあい、認め合い安らげる生活の場」を理念に掲げ目につく玄関に掲示し、職員が常に意識出来る様にしている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会行事(夏祭りやどんどやき等)に積極的に参加し、日々の散歩等でも地域住民とのかかわりや、触れ合いができるようにしている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地域ケア会議にて意見交換している		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は震災についての意見やアドバイスを受け話し、また地域で参加出来る集まり等を教えて頂き考慮した。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給者の入居者について、社会福祉事務所との連携を取っている。地域包括センターから紹介され入居された方の様子を伝えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしない事を基準に取り組んでおり、一人一人の行動を見守り、事故のないように対応している。また、会議で話し合う機会をもうけている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者同士、又利用者対職員の言動に日々十分に気を配り、更衣介助や入浴時等には身体観察に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>2階フロアーには現在利用している方はいないが1階には居るので内容を伝えている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結、解約については同法人、老人保健施設の相談員が窓口となり、状況交換をしながら行っている話し合いには利用者、管理者も参加している</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入口に意見箱を設置しており、年2回家族会を開き意見を伺い、スタッフ会議等で意見を反映させている。面会時にも家族は意見を職員に言ってくれる。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議を月に一回開催し、職員一人ひとりの意見や提案を交換し合い日々の介護に反映させている。申し送りノートを作り日々の介護に反映している		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課が行われている。夜勤時間が今年度変更になり、働きやすくなった。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同法人内の老人保健施設にて開催される研修に参加している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の他グループホーム管理者会議にて意見交換している。田名地区地域ケア会議にて交流を勉強をしている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	積極的な声掛けや傾聴の中から職員全員でカンファレンスを行い、ケアプランに反映させ安心感を築ける様努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談や電話等で家族の不安や要望を伺い、会議や連絡ノートを活用し職員全体で把握し、共通の対応をしている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生活保護になり移動してきた利用者の家族に市のオムツの支給や障害手帳の申請を促した。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活を共有し合う者として必要とされている事を認識して頂くためにも、洗濯たたみ等出来る事は手伝って頂き感謝と敬意を表している		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関わりを密にし、外出、外食をしていただいている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	本人の親戚等の面会の折には、気兼ねなく談笑できる様配慮している。又、本人の大切にしてしている場所は、普段の会話の中に折り込み、共感している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士のコミュニケーションが図れる様、職員が中に入り話題作りをしている。工作等は個々出来る所をやって頂き、職員が合作して、皆で行ったことをつたえている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用中に何でも話しのできる関係を築き、契約終了後もフォローアップ出来る事は行う		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の個性やこだわりを大切にしている。その人らしさを壊さない生活環境づくり本人のペースに合わせている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や友人、本人の話から生活歴や生活環境を大切にしている暮らし方が出来るように努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の体調や生活リズムを大切に考え、その場に応じた対応を心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフ会議においてカンファレンスを行い、現状に即したケアプランの見直しを行っている</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに沿ったサービス記録の他、日々の気づき等は申し送りノートを活用し情報の共有をしている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ひまわり歯科の往診や病院への受診時の配車や、付添い等の既存のサービスの他、新たに訪問マッサージを開始。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会主催のどんど焼きや夏祭りに参加したり、金毘羅神社へのお参り等地域との共存を図っている。ボランティアを導入した。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月に一度の訪問診療を行っており、脳外科、眼科、歯科等必要な所に更に受診している</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	月に一度の訪問診療の際に来設し、利用者の健康状態を把握、又急な体調変化時は本院師長に指示を仰いでいる		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時には情報を交換し、早期退院の為に話し合いや協力を行っている。日頃から看護師長連絡をしている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族の意向を伺い、病院医師の指示を仰ぎながら対応している		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応についてのフローチャートが、確認しながら対応できる様事務所に掲示している。消防署員に指導訓練してらった		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防訓練は利用者を含め行っている。地域の消防組織も協力して下さると言っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重する言葉掛けや対応を心掛け、個人情報の扱いには十分に気を付けている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表せるよう働きかけたり、説明を行い自身が納得のいく暮らしができるよう支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の体調や状況に応じた対応を心掛け、一人ひとりの生活リズムを大切に		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさや本人の意志を大切に整容介助を行っている。又、身のまわりの物品購入も本人に希望を聞き買い物している		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お楽しみメニューを企画し利用者からリクエストしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分チェック表に記録し、日々の摂取量を確認し確保している。夜間も希望者はペットボトルにて水分を摂取している</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアを促し介助している。義歯は每晚消毒、預かりを行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンに応じた声かけ、介助を行い気持ちの良い排泄と自立に向けた支援を心掛けている</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を記録し排尿、排便パターンを把握し排便時は氷水、牛乳を飲用してもらっている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>一週間に2回入浴を行っている。又、季節に応じ入浴剤やゆず湯等楽しんでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	生活習慣や体調に合わせて休息や安眠ができるよう、昼夜にとらわれず支援している		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	誤薬のない様複数人でセッティング確認を行い、薬袋の名前と本人が一致していることを確認し与薬している		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯たたみ、収納等をやって頂き、散歩や買い物にて好みの物を購入している。		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	天気の良い日はできるだけ毎日近所へ散歩に出てる。地域行事にも積極的に参加したり、お花見や紅葉狩り等努めて外室の機会をつくっている		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	欲しい物がある時は預かり金の中から職員と一緒に買い物に行く。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在は利用者から希望が無い		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節の花を飾ったり、季節に応じた絵や飾りものをして、皆が心地よく快適な生活が送れる様工夫している		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	車椅子利用者が多いので安全に移動できるスペースを確保している。また食席の位置などトラブルにならない様に配慮している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の家具、テーブル等は使い慣れた物が置かれ、大切な写真を飾ったり花や絵を飾ったりされており安心して過ごせる空間になっている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所で調理しながらリビングが見渡せるようになっている。バリアフリーで必要な場所には手摺が付いており、安全で見守りしやすいよう工夫されている		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひばり

作成日 1724.6.28

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催回数 が少い。	運営推進会議の 開催回数を 増やす。	年3回の開催を 目指す。	1年
2	33	個別化した場合 や終末期の指 針を定す。	個別化した場合 の対応を家族に 示す。	具体的対応に ついて説明を できるように努める	1年
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。